

○事務局 皆さんこんにちは。

ただいまから令和5年度第1回杵築市総合教育会議を始めさせていただきます。

総合教育会議の構成員につきましては、次第の裏面に記載がありますのでご確認をいただきたいと思います。それでは、まず最初に永松市長からご挨拶を申し上げます。

○永松市長 はい。皆さんこんにちは。今日は令和5年度の第1回目になります。

市の総合教育会議に招集いたしましたところ、大変お忙しい中、また暑い中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、委員の皆様方には、日頃から教育の充実・発展のためにご尽力をいただいております、重ねて御礼を申し上げます。

この総合教育会議は、市長と教育委員会が、十分な意思疎通を図り、杵築市の教育の実情や課題、それから目標などを共有して、より、子ども・保護者・学校ニーズを反映した、教育行政の推進を図るということを目的としております。これは地方教育行政の組織及び運営に関する法律というのがあります、その法律の中で設置が義務づけられております。平成27年度から今年度で9年目ということになります。

今年度市教育委員の皆様方と、市長部局が議論した内容が、令和6年度の予算に反映できるように、予算編成を行う前に開催をいたしたところでございます。

さて、小中学校の夏休みも明日までということで、2学期の始業式が始まります。全国で生徒の熱中症がマスコミで報道されています。どこでしたか、下校途中で亡くなった生徒もおられます。いずれにしても、地球温暖化の影響で、世界中で異常気象が頻発しているということです。

先ほど言いましたように生徒の熱中症であるとか、それから水難事故で小学生中学生が流されていなくなるとか、児童虐待というような悲しいニュースも多数ございました。この中でも児童虐待については、昨年度の県の児童相談所に寄せられました新規相談件数計が、前年より増加しまして、新規、それから対応件数とも、統計調査開始以降最多ということでございます。

これは状況がますます大きくなっているということもあるかもしれませんが、ネグレクトも含めて虐待ということが、広く国民の間に伝わってきたということです。昔は学校とか、いろんな施設で、どうかすると隠そうというようなところもありました。それが隠さないようになった、隠せないようになった。そして、法律もどんどん充実してき

ました。児童相談所は、泣き声とか、虐待通報があったら必ず48時間以内に確認しないといけない。つまり子供たちが早く見つけてもらえるようになったというような良い方向で、動いているということです。そして、それが重症重大化しないうちに防げているんだというふうに思っています。

杵築市でも母子保健と児童福祉で、生まれた赤ちゃんとか幼児指導とか、いろんな問題を抱える家庭の一体的な相談支援を行うということで「こども家庭センター」というのを設置しております。要は、対策型じゃなくて予防型ということで早めに気づいて、教育委員会や児童相談所等関係する機関と密接なネットワークを形成して、早めの対応をとっているところです。多分、18市町村の中でも、杵築市は児童相談所と連携が一番できているというふうに自負をしております。

今日は市の重要な課題の一つであります「山香小学校と立石小学校の統合」について検討をさせていただきたいと考えております。教育委員会と市長部局が両輪となりまして、学校・保護者・そして地域住民のソフト面、ハード面の充実を図るために、情報をすり合わせた上で、政策に生かしていく、特に来年度予算編成の前ですので、忌憚のないご意見を賜りたいというふうに思います。どうぞ最後までよろしく願いいたします。

○事務局 ありがとうございました。

それでは、杵築市総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定に基づきまして、市長に議長として議事を進めていただきたいと思います。説明をする担当者につきましては着席のままで、説明をさせていただきたいと思っております。お願いいたします。

○永松議長 はい。それでは教育会議の設置要綱に従いまして、私が議長となるということが定められておりますので議事を進めさせていただきたいと思っております。

本日の議題は、先ほど申し上げましたように、一つだけです。山香小学校と立石小学校の統合についてということです。委員の皆様と率直な意見交換をいたしたいと存じます。

それでは、統合につきまして、教育総務課からの説明をお願いします。それから、ご意見とご質問は説明の後で承りたいと思っております。それではよろしくお願いします。

○教育総務課長 はい。皆さんこんにちは。よろしくお願いします。

資料につきましては、山香小学校と立石小学校の統合についてという資料を、ご覧く

ださい。

まず、最初に山香地域の小学校の統合について背景等をご説明させていただきたいと思います。山香地域につきましては6地区に1校ずつの合計6校の小学校がありました。平成28年4月に旧山香小学校、旧東山香小学校、旧山浦小学校、向野小学校の4校がまず統合をして、山香小学校として新しくスタートしております。翌29年4月に上小学校が統合して、現在の山香小学校ということで、現在までの推移をしております。

立石小学校につきましては、この時点では統合しないという意向を表明している状況でございます。

続きまして別紙1・2を参照しながら、立石小学校の現況についてお話をさせていただきたいと思います。立石小学校につきましては、別紙2にある通り、現在、令和5年については児童数7名ということになっております。児童数が年々減っており、集団活動や教育活動が難しくなっている状況が続いております。

また、別紙1にありますように、山香小統合から、昨年、令和4年までの表になりますが、立石小学校は、平成28年、最初の4校の統合が行われたときは38名いました。翌29年につきましても、31名ということで30名を超える児童がいたこともあり、地域の方からも、学校を残して立石小学校でというようなことで、統合についてはその時点ではしないというふうなことになっておりました。

今年度、児童が7名になったということで、学校の運営そのものも大きく変わっております。まず教職員の配置についてですが、校長、教頭、教諭の3名体制ということで、随分数が減っております。ただ、児童の安全面、健康面を考慮して、養護教諭につきましては、市の単独で、雇用をしている状況であります。立石小学校がこのような状況ということもあり、本年2月に小学校の適正規模適正配置についての提言をいただきました。

その中では、中学校の1学級で、また学年の児童の下限が8名ということが一つ提言をいただいたところで、それからまた別紙1にありますように、上小学校が平成28年の段階で9名ということでもあります。その時点で、教育委員会としても、山香小学校と統合してはどうかということ、上小学校の保護者も含め地域の方に、お話をさせていただきました。統合のメリットというところで先ほどお話したとおり、統合することによって集団活動の集団教育活動の確保ができるということ。それから、学校施設が一つあ

ることで予算的にも、かなりの額を支出しているという状況もございます。

先ほどお話をしました養護教諭につきましても、うちの単独で雇用している状況もありますので、その部分についても、管理の効率化も図れるという統合するメリットがございます。そういったところで、教育委員会として山香小学校と立石小学校の統合についてご意見をいただきながら、前向きに進めていきたいというふうに考えております。

別紙の3になります。今後のスケジュールになりますが、本日、山香小学校と立石小学校の統合の方針についてご説明させていただき、委員の皆様方からご意見等いただきたいと思っています。いただいたご意見を、来月の第9回教育委員会定例会の方で、統合方針として決定をさせていただきたいと思っています。

この方針の決定を受けて保護者・学校運営協議会の委員、立石地区の区長会、住民自治協議会の役員、それから山香地域の市議会議員に説明をしていきたいと思っています。併せて、立石小学校PTA会長からは、承認のご報告だったり、統合するにあたっての要望書等について、教育委員会の方にいただきたいなと思っています。そういったプロセスを、できれば、本年12月、第12回の教育委員会定例会のときに、両小学校の統合について協議をして決定をしたいなというふうに思っています。

この決定を受けて、年が明けて1月、山香小学校統合準備委員会ということで、これは立石小学校の閉校の委員会を兼ねるといようなことになるとは思いますが、立石小学校のこの委員会を設置していただいて、約2年、令和8年3月30日の令和7年度末までに立石小学校の閉校について準備いただき閉校。令和8年度の4月1日に、立石小学校と山香小学校が統合し、立石小学校が閉校になるというスケジュールで行かせていただきたいなと思っています。旧山香地域の方が統合しているわけですが、スクールバスで通学しています。立石の地区の児童につきましても同じように、スクールバスで登下校をしたいと思っています。現在立石地区に住民票があるんですが、もうすでに山香小学校に通ってる児童が、9名ほどいらっしゃいます。

今は、保護者による送り迎えで通っている状況でございますので、今年中に、統合が決定すれば、次年度、令和6年度からスクールバスで送迎を実施したいなというふうに考えております。統合につきまして資料に沿って説明させていただきました。以上です。

○永松議長 それではただいま山香小学校、立石小学校の統合について教育総務課長か

ら説明がありました。ご意見とかご質問等、どなたからでも結構です。よろしくお願ひします。

○教育長 ちょっと補足で平成28年の合併の時、委員と私がおりましたね。この時、山浦、東山香が山香と一緒にになります。そこまでよかったんですが、上がなかなかうんと言わなくて、児童がまだ10何名いたのかな。実は10名を切る状況は次の年には、ある程度わかっておりましたので、思い切って教育委員会が、方針を決めて、先ほど教育総務課長が言ったように、教育委員会としてはぜひもうお願いしますということで、住民の方に説明に参りました。委員さんもそうです。

○委員 そういうこともございました。1点よろしいでしょうか。

○永松議長 はい、どうぞ。

○委員 今教育長がおっしゃった通り、平成25年から話を進めて、27年度、統合を1年先延ばししました。その後、立石小学校はなかなか統合には前向きな姿勢を見せていなかったんですが、おそらくその後も教育委員会としては、統合の話をずっとしてきたんですけども。そんな中で、おそらく、地域の方やPTAの方に、アンケートをとったり、してきていると思います。それについて、若干あらすじでもいいですから、結果についてお知らせいただければと思います。

○教育総務課長 去年はもう1学期の途中に、順次保護者の意見ということで、示しました。今6世帯、7名ですけど6世帯のうち、5世帯は、統合に賛成。1世帯が反対となっていたんですが、これもどうしても反対しているわけじゃなくて、アンケートも参考にしながらというふうに会長からは確認しています。以前、29年にもう統合しかないというふうな話になった時は、保護者の方がなかなか声を上げづらいという状況があったというように確認しています。その時点では、確かではないですが、やはり小学校を存続したいというような意見が多かったという気がしていますが、ここ数年につきましてはもう、統合という形で保護者の方は動いているというふうにお聞きをしています。

○委員 地域の方々にはそういったアンケート等は取ってないということですよ。

○教育総務課長 地域の方々にアンケートは取っていません。学校の方で実施をするのは保護者のみというふうにお聞きしています。

○委員 そうすると、以前に比べると賛成を表明される家庭がもうずっと多くなったということ。

○教育総務課長 はい。

○教育長 これまで、学校教育課長が教育総務課長の前からずっと対応してくれている。学校教育課長、ちょっとお願いします。

○学校教育課長 今課長がおっしゃった通りなんですけど、4・5年ぐらい前までは、どちらかというとなんか半々であったりとか、ちょっと統合には後ろ向きという意見が多かったんですけど、この3・4年はもう8割9割の世帯が統合賛成という形に、保護者からのアンケートではなっています。委員さんがおっしゃるように、やはり地域の声としては、反対という声が、何らかの会議の中では聞こえてくることも事実です。

○委員 ということは現状、立石校区から山香小学校区に通っている方が10名ぐらいいらっしゃる。その保護者の方も当然、統合に賛成であると。もうほぼ100%近く賛成であるというふうに思ってもよろしいでしょうか。

○教育総務課長 保護者については、ほぼ統合の方は問題ないなというふうに認識をしています。

○永松議長 はい。どうぞ。

○委員 僕は大田に住んでいまして。もう、僕の大田小学校はどんどん過疎化して、児童数が減っています。「いずれは」ということは心の中ではわかっているんですけど。基本的に地域住民の立場からするとやっぱり学校って、地域の文化だと思います。コミュニティの中で非常に大切なんです。やっぱりなくなるとそこに若い人が住む意味がなくなるよと言われるんです。学校があるところに住めばいいじゃないかという意見が多くなるんですね。それは僕の基本的な考え方ですけど。でも、その中で今立石小学校みたいにその保護者の意見がほとんど統合に賛成な地域と保護者が同じ方向を向いている時は、僕の考えでいいと思うんです。保護者の考えがもう統合に行くようだったら、やっぱりもう統合の方に行かざるをえないかなという意見です。

本当に、子供たちがいなくなると地域は寂れていきます。それは僕らも実感するんですけど、でもだからといって、地域住民の意見だけを聞いて、保護者とか子どもが、行きたいというところに行かれないっていうのはまたそれはおかしな話で。

○教育長 実は、私が就任して市長も一緒になった時はそういうことで、地域っていうのが非常に大事です。それはもう当然だから、要は、そういう基本は一緒なんだけども保護者の思いが、今まで全く一緒ということはなかったけど、もうやっぱ100%近く

が今は賛成ということですよ。

○委員 はい。そうですが、保護者の意見となると、もう地域の意見より保護者の意見を取らないといけないっていうのはわかるんです。

○委員 すいません。

○永松議長 どうぞ。

○委員 平成25年から各地域の説明会に私と教育長も行ったんですけども、その中で、地域の方とか、それから保護者の方は、子どもたちが新しい学校に入ってですね、なじめるかとか、いじめに遭わないかとか、通学の問題とか、スクールバスを出してもらっても、大雪が降った時とか、そういった心配をなさった方がたくさんいらっしゃると思います。現に統合してしまえば、そういった問題の払拭はされたものと私達は思っているんですけども、これとって何かこう問題が起きたとか、そういうことは今まではないでしょうか、ないんですね。

○学校教育課長 はい。

○教育長 もう非常に学力が下がって困ったとかね、統合したからって言って、それは困ったな、というようなことはありませんね。はい。

○委員 その辺も地域の方々がすごく心配なところだと思うんですけども。今までその4校が1校に統合された中で、そういう声が、漏れ聞こえてこないということであれば、地域の方も少し安心なさるのかなと思いますけど。

○永松議長 はい、どうぞ。

○委員 統合した平成28年ですかね。うちの2番目の娘がちょうど小学校6年生の時でした。その時に、山浦小学校、上は違うんですけどね。向野の方とか、統合された時に、今委員さんが言われたみたいに、私たち保護者もいじめがあるんじゃないかとか、そういう心配をしていたんですけど、逆に友だちが増えたとか。ただ、特に統合したことによってって問題点ってというのは多少はあると思いますが、保護者の方ではあまり感じなかったような気がします。

最近立石地区の方たちが会議というか、こういう地域の会議があるたびに、やっぱり心配されています。こういうふうには人数が、保護者の方も賛成の方が多い。実際に7名が立石小学校で9名の方が、山香小学校に通っているってことも人数が、逆転しているってことを考えると、やはり統合は仕方がないのかなと思います。先ほどから地域

の方の意見が出てきていますが、3校が統合されてから、地域の方と盆踊りをするとか、イベント行事をするという、カリキュラムを作ってあげていることはあるんですか。

もう今、立石小は運動会をかなり大掛かりにされていると思いますし、お祭りもかなり大掛かりでされています。そういうのがやっぱりなくなってしまうんじゃないかっていう寂しさだったり、全部を取られてしまうんじゃないかっていう不安があるのではないかなと思うと、その辺を上手にカリキュラムとして、地域との、交流っていうのも含めて、大丈夫ですよっていうふうな形に持っていけないものかなとは思ったりもしています。

○教育総務課長 私の地域の事で大変恐縮なんですけど、今年、地域にある子ども園のお子さんと、山香小学校に通う東山香小の児童と一緒に、地域芸能を継承していこうというふうな、保護者の働きかけの中でですね、住民自治協議会の一環なんですけど実施をしました。回数については当然小学校がある時に比べると、少なくなっているというのはもう実感するんですけど、そういった形で、またコロナがあけて、戻れば、また違った形のものができるんじゃないかなというふうに思ってますんで、その辺については地域に原点回帰する機会は、あるのかなというふうに思っています。

○学校教育課長 補足なんですけど、カリキュラムのことなんですけど、確かコロナもあってなかなか動けない時期を過ぎて、2年ほど前から山香小学校の6年生だったと思いますけど、授業のカリキュラムの中で、ふるさと学習みたいな形で、スクールバスを持っていますので、それを利用して、確か向野とか山浦とか、6年生みんなでそちらに行ってみ学をして回りました。そして、向野地区や山浦地区の地域に詳しい方の協力で、その地域の紹介をするという取り組みもやっていて、多くの山浦の地域の方々には喜んでくださっているって話を聞きます。継続できるといいなと思っています。

○永松議長 はい。委員さん何かありますか。

○委員 はい。私も統合に賛成をせざるをえないというふうに思っております。資料を見ても、もう、一つの学校として成り立つのは難しだろうと思います。少し心残りなのは、昨年度、久しぶりに学校訪問がありまして、立石小学校に限らず、学校訪問がありまして、その教育目標の第1番目に、「立石を愛し」という文言があって、一番上にあるんですよ。そして、3・4年生ぐらいの生徒の授業の中に、立石地区の動植物、昆



虫などを扱ったような、そういう研究発表みたいな公開授業がありまして、本当に立石っていうのを愛しているんだなというのが実感できました。そういう学校がなくなるのは本当に私の中では心残りなんですけど、客観的資料を総合的に見て、山香と統合に賛成したいと思います。

○永松議長 はい。お話を聞いて、60年ぐらい前に、杵築小学校だったんですけど、思い出したことがあって、杵築小学校で、多分ものすごくたくさん子どもがいたと思うんですけど、当時部落児童会というのがあって、私なんかは本町の中央区の地区の児童会があって、1年生から6年生までみんな同じ教室に集められて、そして連絡網があったりして、それで例えば夏休みの前にこういうことに気をつけようとか、「いのこ」の行事があるとか、それから、天神様があるとか、その地区の行事のときに、みんなで出かけるとかですね、当時は大規模学校の子どもではなくて、その地区の子どもだっていう考え方がまだ残っていました。ですから今、皆さん方のお話を聞いて、例えば子ども神楽の伝承であるとか、大田であれば、ああいう白髭田原神社の話は今でも、単独の小学校ですから、それが、みんなが地区の子どもとして大切にしているというのは、小学生の時期からそうされると、やはりいいところや大事にされるといい記憶しか残らないんですね。

そういう意味では、今統合されていますけど、横串を通すような地区の集まりがあるとか、その地区のOBの先生とか、地区で農業体験をするとかいろんな体験があると思うんですけど、そことの関係を大事にその根を絶やさないようにしてもらえるとありがたいなと思いました。今なんかちょっと思いだしたものですから。はい。

あとは、基本的には皆さん方のご意見を伺うと、まずはその地区のことも大切だけれども、その保護者の意見に反対してまで、統合反対っていうのはやっぱりなかなかできないなっていうのは全員共通だと思います。後はそういう方向で、まずは保護者の方とかですね、手続きが先ほどありましたけどその通りにやっていって決して急ぐことはないの、何年何月までなんてことはなくて、そういう形で納得していただいて、そして、さっき委員さんがおっしゃったようにやっぱり不安があるということで、例えばじめがあるんじゃないかなろうかとか、学力の点であるとか、大きな人数の中に入ったことがないけど、埋もれてしまうんじゃないかなろうか、うちの子は気が小さいから不登校になるんじゃないかなろうかとかですね、自分の子どもならではの心配事っていうのはたくさん

あると思うんです。そういう細かい心配ごとに教育委員会の方も、学校現場の方もきちんときめ細かく対応していただくということであれば、そういう保護者の意見を聞いていく、その意見を聞くというのはそういう不安を少しでも解消していくっていうことですね。今、立石は、16名が立石小学校区に住んでいて、9名が、山香小学校にすでに通っています。ただ、スクールバスがないので、親が送り迎えをしているということで、もしそういう保護者の方々が統合という形でいいと言え、スクールバスを出してあげたいというのは教育委員会の考え方ですので、そういうことも含めて、教育委員会の方から、地元の保護者の皆さん方と話を始めるということによろしいでしょうか。

○委員 はい。

○永松議長 ありがとうございます。あと何か教育総務課長ありますか。

○教育総務課長 はい。保護者と学校運営協議会の委員さんがいらっしゃると思いますので。まずそことお話をさせていただいて、併せて当然地区の方々も同席をするかどうかっていうのはちょっとまたこれから相談させていただこうかなと思います。その話し合いを何度かした上で、教育委員会の方にまた統合のことでお話をさせていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○教育長 そういう流れですね。ちょっと私も微妙に感じているのが、1例を言えば例えば立石の保護者の方と6年かな。その時にこの前学校運営協議会の委員も同席って思ったけど、私は昨日ちょっと小事件があったものだから、山香小でそんなのを感じたときに、まず保護者にもう1回我々は確認して、そして学校運営協議会の中に、なかなかの人がおりますので、ちょっとその辺をもう1回こちらでとっておりますので。

また、委員さんにも少しずつ、途中経過を話しますので、よろしくをお願いします。

○永松議長 では一応、今回の議題というのは、山香小学校と立石小学校の統合でしたけど今皆さん方からご意見をいただいて、それから教育総務課長、教育長から今の説明がございましたけど。そういう形でこの分については方向が決まったということによろしくございますか。

○委員 はい。

○永松議長 ありがとうございます。それでは次第の4ですがその他について、何かありますか。ありませんかね。よろしいですか。委員の皆様方は出席をいただいておりますので、この議題以外のことでも構いません。先ほど、大田小学校のことが心配とい

う声がありました。

○教育長 実は小規模特認校制度と言って、そういう面を旧村・町とかの統合の場合、配慮するという、そのための小規模特認校制度があるということ、そういうことを言いたかったんです。

○永松議長 はい。市町村合併で、例えば市町村、多分、町であるとか村であるとか1校しかないところをなくすということは、基本的には難しいなということもあります。何とか守っていこうというのが杵築市としての考えです。

○教育長 こども園でも一緒です。このこども園の保護者の方々が、泣きながら訴えていましたね。

○学校教育課長 すいません。委員さんの話を聞きながらですね、地域の方々の思いというのはその通りなんだろうなということはずっと感じているんですけど、校長とヒアリングをする中で、やっぱり立石小学校が一番困っているのはですね、子どもにとってやっぱり学校が一つの社会なんですけど、子どもが少なすぎて、とにかく友だちができないんですよね。新たな社会が広がらないというかですね。時々山香小学校との交流なりをできないことはないんですけど、そういう事がとにかく学校からすると、子どもたちにしてあげられるようにと。もうそこはどうしても大人の世界でなかなかこうしてあげられないというところで、右往左往しているということですね。また校長から話があったので、それもそうだなと思っています。どうぞよろしくお願いします。

○永松議長 はい。よろしいですか。ほかに委員の皆様方から、この議題とは関係なくても結構ですので何かお話をしたいとか、ご意見をお持ちの方があれば、よろしいですか。

○委員 はい。今日こうやって小学校の統廃合の話が出たんですけども、幼稚園がポツポツそういったスケジュールもだいぶ押し迫ってきていると思うんですけども。具体的に何年にとかそういったスケジュールがちょっとわかれば、教えていただきたいんですけども。

○教育総務課長 資料がなくて大変申し訳ないんですが、「杵築市立幼稚園の休園及び閉園に関する要綱」を、令和3年の4月に施行したんです。その時点で、熊野、豊洋につきましても3年以上の休園の期間がありましたんで、その時点で閉園ということで、今現在、杵築については6園になっています。それで、要綱によると10人以上の園児が

いなければ、翌年度の募集をしないと、そういうことになっていきますんで、もう3年を経過した大内・八坂・守江・北杵築、この4園につきましては、来年度、年長のみの学年であと1年で休園に入ります。募集についても、来年度の募集はしません。で、3年間の休園期間を経て、その後、閉園というふうなことになります。

今現在10人以上います杵築幼稚園と東幼稚園につきましては、次年度についても年少・年長の募集をしますので、募集の状況に応じて、例えば10名以下になればですね。その後3年をすれば、また休園の措置に入るというふうなことになりますんで、今のところ、杵築と東につきましては、ずっと継続、その他の4園については1年のみということになります。はい。

○委員 令和6年度いっぱい年長さんを預かったら、それ以降はもう完全に募集中止で、3年後の令和9年に閉園ですね。

○教育長 杵築幼稚園が今49名。そして、東が11名ということですね。はい。

○永松議長 私なんか小さい時は、農業をやっているか商売をやっているかで、勤め人は少なかったんですけども、いつも家に帰ったら、おふくろとかおじいちゃんおばあちゃんがいるのが当たり前の世界だったんですけど、今は核家族でしかもお父さんもお母さんも働いているんで、幼稚園から午前中で帰ってこられてもどうしようということ。それにおじいちゃんおばあちゃんいればね、いいですけどおじいちゃんおばあちゃんがいるということ自体の方が珍しいんですね。そういう意味では、お母さんも労働力として外に駆り出される状況です。親戚もほぼみんなバラバラになっているということもありますので、どうしても夜まで、預かってくれるようなみんなのニーズにこたえられているところしか生き残れない。

杵築幼稚園の場合、給食を出すし、あとはなんか延長保育もやる、そういうことで、あと、幼稚園の先生どうするのっていう話はまだ先の話ですけど。まあ、私としてはこども子育てとか児童虐待とか、発達障害であるとかいろんな支援を必要とする子どもがそのままになっているんですね、家庭に訪問したりとか、里親さんであるとか、いろんな方をサポートしてですね、幼稚園の子どものことをずっとわかって免許持っている人が市の、教育委員会だけじゃなくて市長部局にも籍を置いていただくと早期発見早期介入で家族と連携をとって、教育者としての立場でお母さんと接すると、子ども全体をアプローチするときに非常に欠くべからざる戦力だと思うんです。もっと活躍のウイ

ングを広げてくれるとありがたいなというふうに思います。

はい。ほかにはないようでしたら、これで議事を終了いたしたいと思いますので、進行を事務局にお返しします。

○事務局 次回の総合教育会議について開催日時はまだ未定ですが、教育立市プランの進捗管理を議題の1つとして開催する予定ですのでよろしくお願いします。

また、本会議は市長が招集することになりますが、協議する必要があると認められるときは、教育委員会から市長に対し、会議の招集を求めることができるとされておりますので、教育委員会の事務に関して協議する必要がある場合は、総務課までお願いいたします。

はい。熱心なご議論ありがとうございました。これをもちまして令和5年度第1回杵築市総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。

○永松市長 どうもありがとうございました。